

東北・福島+埼玉=福の玉 が生まれ、ゆっくりふくらんでいきますように...

さくらも満開の11号

福玉便り

ふく たま だ よ り

2013年4月1日(金)発行

発行:『福玉便り』編集委員会 (一社)埼玉県労働者福祉協議会・NPO法人ハンズオン埼玉・震災支援ネットワーク埼玉(SSN)

編集デザイン:NPO法人ハンズオン埼玉 メール:fukutama@431279.com

連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協議会:〒330-0061 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4-21 TEL048-833-8731

印刷協力:富士ゼロックス埼玉 端数倶楽部



幸手 **権現堂の桜の下で交流会**
4月7日(日)11:00

来る4月7日に幸手市の『権現堂で桜と菜の花を鑑める会』がおこなわれます。主催は、富岡町から杉戸に避難されている皆さんとその支援をされている方々です。ご参加ください!(以下、よびかけのチラシより抜粋。)

権現堂堤は、江戸時代から、日光街道と日光御成街道の分岐点にあたる、桜の名所です。1キロの堤に、千本のソメイヨシノが咲きます。桜堤の周りには、菜の花畑が広がっていて、桜の時期には、菜の花もきれいに咲きます。満開の桜の花のピンク色と、菜の花の黄色のコントラスト。それは、それは、見事な風景です。富岡町の桜も見事ですが、埼玉の桜も見事なものです。大切な富岡町の桜が震災の影響でどうなるかわかりませんが、いつか富岡町の桜の下で、花見が出来る日が来た時こそ、本当の復興だと思えます。春の満開の桜の下での楽しいひと時!どうぞ沢山の皆様のご参加をお待ちしております。よろしくお願ひします。

当日連絡先:佐藤さん080-2820-9291
豊島さん080-1243-6737

車の場合:幸手市北公民館の隣に桜堤と駐車場あり。
電車の場合:東武線幸手駅から臨時バスあり(土日のみ)

4月から『福玉・謡曲の会』が始まります

能楽師・武田祥照さんのご協力を得て、初歩から能について学び、謡のお稽古をする会を開始します。

「能を好きになってもらいたいです」と武田さん。楽しくも、心落ち着く時間になればと思います。ぜひお気軽にご参加ください。お待ちしております。

第1回目の案内(今後月1回の予定)

日時:4月13日(土)10:30~11:30

場所:With Youさいたまセミナー室2

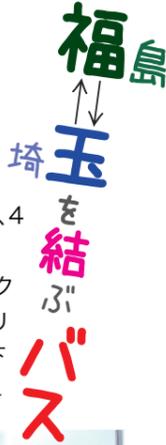
交通のご案内:さいたま新都心駅か北与野駅

下車徒歩6分ホテルプリランテ武蔵野4階

お問合せ:薄井まで(080-5532-7380)



ゴールデンウィークも福玉結バスで、家族の交流を・・・!



(一社)埼玉労福協は、2月・3月の試行的運行を踏まえて、4月以降も適宜運行することにいたしました。

その第1弾として、連休に福玉バス(ゴールデンウィーク家族交流号)を運行します。ご家族や知人との交流、スパリゾートでのリフレッシュ、埼玉県での買い物等にご利用下さい。もちろん今回も福島県から避難されている方は無料でご利用いただけます。

- ①4月27日(土)と4月28日(日)いわき便
いわき駅 ⇄ さいたま新都心 (往復)
- ②5月3日(金)と5月5日(日) 中通り便
福島駅 ⇄ さいたま新都心 (往復)

*試行便での「土日連続運行では、滞在時間が確保できない」というご指摘も踏まえ、「中通り便」は「2泊3日滞在型」にしました。

●詳しい運行予定(時刻表)および予約については、(一社)埼玉労福協・電話048-833-8731まで

*4月1日(月)以降、(一社)埼玉労福協のホームページにも掲載します。



県外避難者向け情報提供サイト

『ふくしま結ネット』

<http://yuinet.beans-fukushima.or.jp/>

運営しているらっしゃる東日本大震災中央子ども支援センター福島窓口さんからメッセージをいただきました。

福島県から県内外に避難されている方と「ふくしま」を情報で「結ぶ」サイト、『ふくしま結ネット』を3月19日より開始いたしました。健康診断や予防接種などの健康・福祉情報、補助・支援情報、交流会や相談会といったイベント情報を発信いたします。福島県発の強みを生かし、県内だから得られる情報、例えば「ふくしまのお母さん達は、どんな風に子育てしているんだろう?」「新聞やテレビでは報道されない情報が知りたいな」など、福島の子育て環境やお母さんの声もお届けする予定です。

必要な情報を「しっかり」区別してわかりやすく、情報を必要とされている方に届けるためにこれからも『ふくしま結ネット』は変化し続けていきます。皆さんの生活の身近なツールになるべくわかりやすい情報配信に努めていきますので、ぜひご活用ください。

3・11東日本大震災追悼式典



上尾シラコバト団地の一区画にある公園で、3月11日、被災者の会「ひまわり」主催のもと追悼式典が行われました。司会をひまわり副会長の常磐さんです。

シラコバト団地自治会長宮下さん、埼玉県労働者福祉協議会事務局長永田信雄さんの挨拶に続き、「被災者の言葉」では、大船渡市から避難されている小島さんが、良寛の「無常の現実」という言葉に触れ、「前向きに受け止めてこそ、人の輪をひろげ、心を繋いで未来に希望を持てる」とお話されました。続いて石巻市からの高橋さん。「まず地図を買いまし



「明日もこの地で生きていきます」という言葉があり、その後、みんなで河津桜の植樹を行いました。河津桜は早咲きの

品種。3月中旬に咲くという事で選んだそうです。和太鼓による成長祈願の曲が力強く鳴り響きました。この日は、福玉編集部も列席させていただきました。「FOR(〜のために)」ではなくWIT(H〜と一緒に)」という言葉をいただき、改めてこれからも、隣で、共に考えていきたいと願う一日となりました。(編集部・伊藤)

「この向こうに自分の家があったのよね」

さいたま市 去る3月23日、24日にひらかれた、さいたまシティマラソン〜みんなのフェスティバルは多くの出店がありました。復興支援写真展示コーナーでは多くの方が熱心に写真に見入っていました。

「この向こうに自分の家があったのよね」と教えてくださる方、「昔住んでいた浪江の請戸漁港から鮭を買って来てね、おいしかったんだよ」と話してくれる方々。そっと涙を拭かれる方、一枚一枚子どもに説明



去る3月17日、鴻巣の避難者の会〈想いのメンバー有志による活動「鴻巣ママランチ」の主催で、「うどんをつくらう会が開かれました。この日は、メンバーでもあった、Sさんのお別れの会でもありました。会を主催した一人、児玉秀子さんから一言いただきました。(編集部)



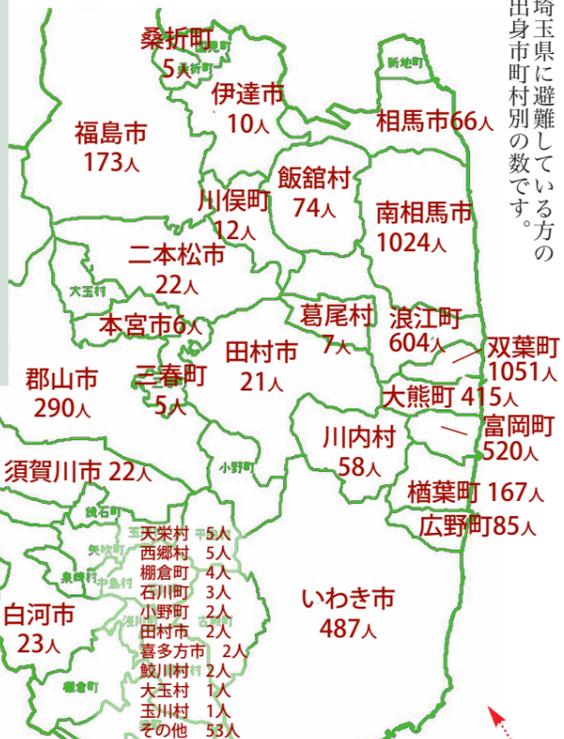
コープみらいのみなさん

「このくらいいかないけれど」とすぐに募金してくださった方も。さまざまなお声や姿に触れた2日間でした。周囲の賑やかさが遠くに感じる、静かに思いを馳せる場となりました。提供・運営してくださったコープみらいの皆さんに感謝です。(編集部・薄井)



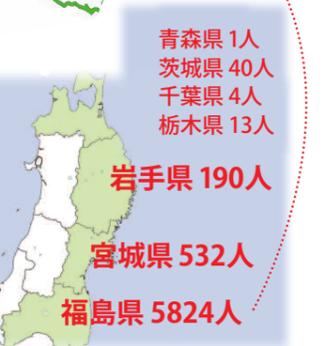
「想いの」事業を通じて、我が家と同じ家庭状況で福島から避難しているSさんに出会うことができ、メールやランキを重ねてきました。振り返れば、辛い時こそ、話をすることで癒され、エネルギーを充電させてもらい、乗り越えてきた気がします。4月からSさんが郡山市に移ることになり、〈想い〉、県人会、日清製粉の皆さんの協力を得て、お別れ会を兼ねて「うどんをつくらう会」を開催しました。親子共々楽しい1日になりました。ご協力頂いた皆様にお礼申し上げます。

埼玉県への避難者数の現在

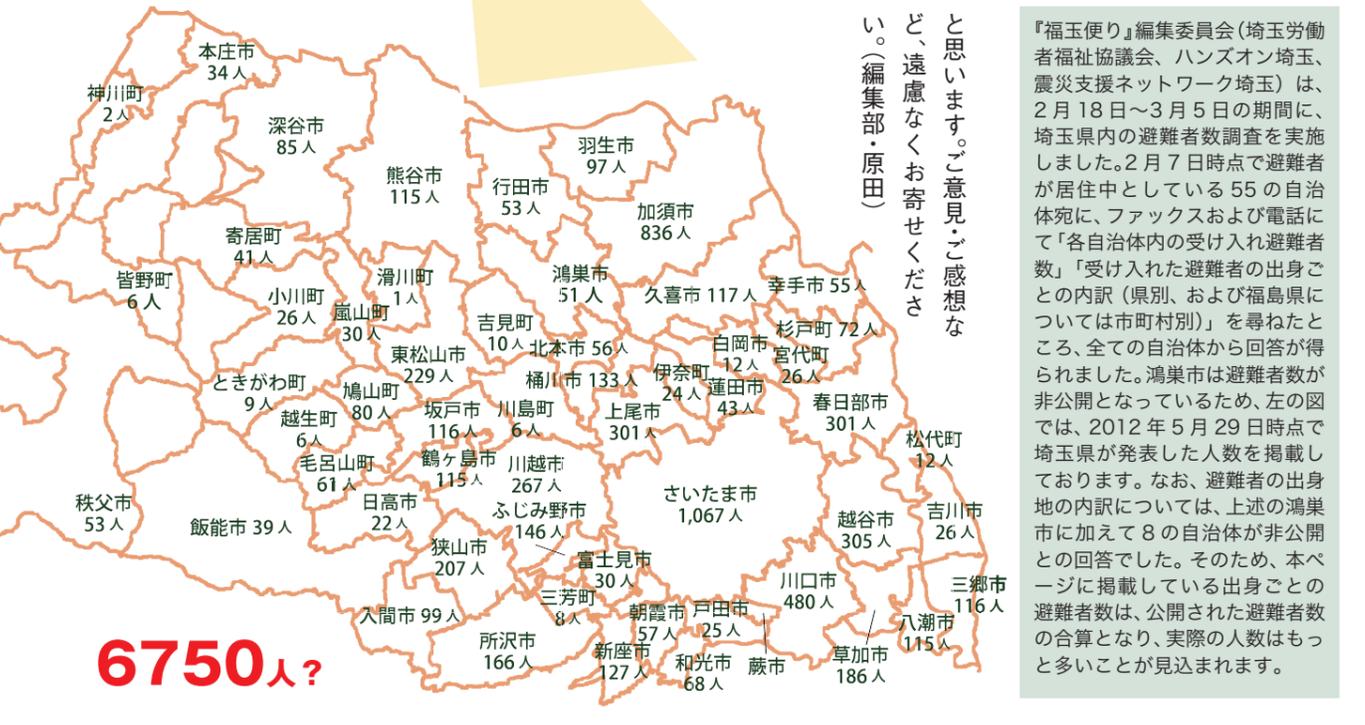


埼玉県に避難している方の出身市町村別の数です。

震災から2年を迎えるにあたって、『福玉便り』編集委員会では、2013年2月に埼玉県内の各自治体に避難者数の調査を実施いたしました(調査方法は下記をご参照ください)。復興庁が発表していた埼玉県内の避難者数は4037人となっていました(2013年2月15日時点)、今回の調査では埼玉県内に6500人以上の避難者の方々がいる



避難先としては、さいたま市・加須市・川口市が特に多くなっていますが、県内のほぼすべての自治体に避難者の方々がいらつしやることわかりました。埼玉県内では、各地で生活支援や交流会が実施されていますが、まだまだ地域によってバラつきがあります。加えて、同じ地域から避難した方々、同じ境遇にある方々が集まれる場を作っていくことも、必要になってくると思われ(4ページのアンケート報告もご参照ください)。



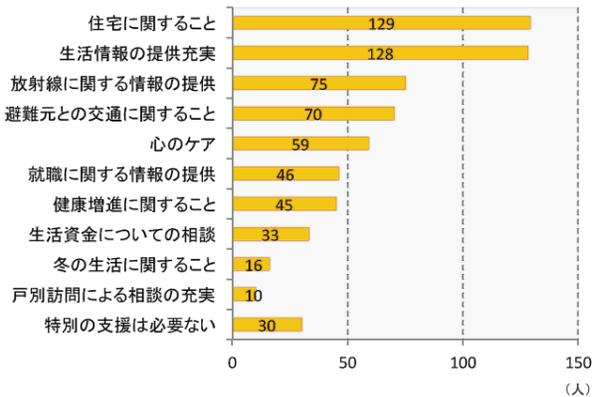
『福玉便り』読者アンケートから

昨年12月、『福玉便り』編集部住所を登録いただいた500世帯を対象に、アンケートを実施いたしました。いくつかの地域では避難者の方々同士でアンケートのコピーを配布していただき、最終的に231人の方からご回答をいただきました。ご協力いただいた皆様に、改めてお礼を申し上げます。ここでは、アンケートの集計結果と自由記述から見えてきた、避難者の方々の現状や今後について、お伝えいたします。(編集部・原田)

1. 生活支援について

まず、どのような生活支援を期待しているか尋ねたところ、図1のような回答がありました。このうち、特に回答が多かった住宅に関する期待として、自由記述で以下のような不安

図1. 期待する生活支援(複数回答)



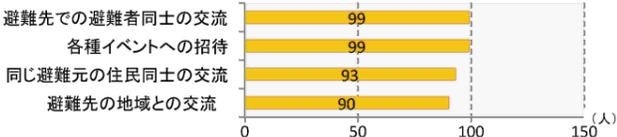
の声が多く寄せられました。現在借り上げ住宅に住んでいますが、震災当時小学生だった長男も今は中学生になり、6畳2間のアパートで家族5人ではあまりにも狭く、勉強するにも下の子ども2人がテレビを見たりしていると集中する事ができなく、せめてもう一部屋あったら普通に布団をひく事も小さなテーブルを置いて勉強させる事もできるのにならぬと思っております。(富岡町、三十代女性)

同じく回答が多かった「生活情報の提供充実」に関しては、以下のような自由記述がありました。避難元、避難先どちらも年月の経過につれて生活支援等の意識が希薄になってきている感がある。まだまだ普通の生活の中で不便さを感じる事は多々ありますし、困りごと悩みごとたくさんあります。(南相馬市、五十代男性)

2. イベント・交流会について

抱えていることを、もっと気にかけて欲しい。(富岡町、四十代女性) また、自主避難した方々を中心に、避難元との交通に関する要望が自由記述に多く寄せられました。月に1〜2回は車で福島に帰っているのですが、高速料金やガソリン代など大変です。せめて高速道路が無料になれば毎週末には父親に会わせてあげることが可能になるのに、と思います。(二本松市、四十代女性)

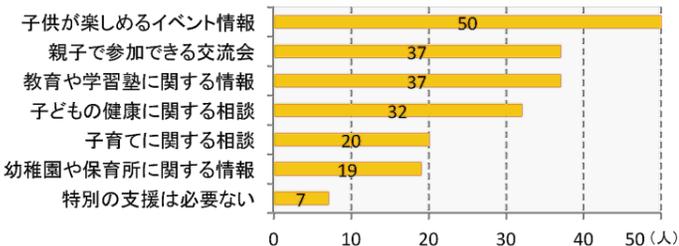
図2. 期待するイベント・交流(複数回答)



また、避難先の地域で開かれる交流会だけでなく、同じ地域、同じ境遇の方と集まる機会を期待する声も寄せられました。

★市町村ごとの交流にしないと、話題が合わない。警戒区域等、市町村ごとに分割が違いため、話題の中心となる賠償で齟齬を生じる。(南相馬市、六十代男性) ★自分から自主避難生活であることは言えず、同じ立場の方と交流する機会がありません。地元に戻っても、その話題

図3. 期待する子育て支援(複数回答)



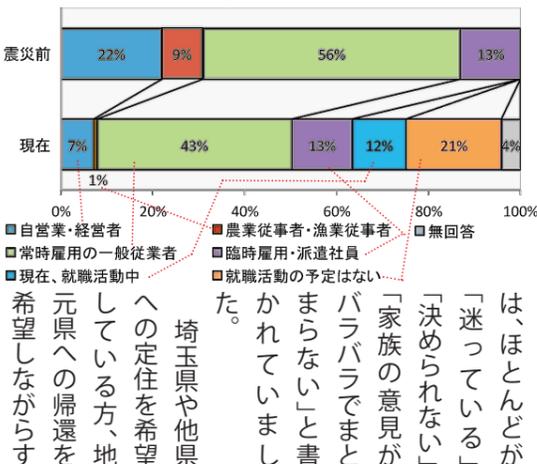
にふれないでいるのが当たり前です。もし同じ状況の方(母子避難中)とお話ができる場があれば是非参加してみたいと思っております。(郡山市、三十代女性)

★子育て・家族について 中学生以下のお子さんをお持ちの81人に、子育てに関する支援への期待をお尋ねしたところ、図3のような回答がありました。また、自由記述では、以下のような切実な声が寄せられました。

★避難先での病院、子育て支援等さまざまなお知らせが欲しい。娘のトイレトレーニングの最中でおきた避難生活で母子共に精神的に苦しい。紙おむつの支援はとても助かります、今後も継続をお願いします。(富岡町、四十代女性)

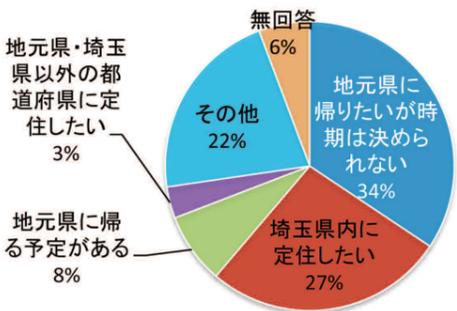
★今後の生活の予定について 今後の生活の予定について尋ねたところ、図5のような回答が得られました。なお、「その他」を選んだ方は、ほとんどが「迷っている」「決められない」「家族の意見がバラバラでまだまららない」と書かれていました。

図4. 震災前と現在の仕事



★平成23年3月11日以前の双葉町に帰りたい。(原発から4キロ以内の住宅ではもうだめか? 第2の人生生活にこの地も考えている(双葉町、六十代女性) ★震災前から主人は埼玉で働いていたので、同居するようになり1年と8か月になります。津波での避難なので、以前住んでいた場所には戻れないですし、かと言ってどこにも住むというわけでもなく、困っているわけでもない…。あいまいなままにきてしまっ、正直とまどっています。

図5. 今後の生活の予定



くには帰れない方、定住と帰還の間で揺れ動いている方がいらっしゃり、いずれも難しい選択に立たされていることがわかります。自由記述でも、以下のような声がありました。

6. これからの支援に向けて このように、今なお多くの避難者の方々が、住宅・子育て・仕事などに関して難しい状況に置かれています。そして、地元の復興状況・家族構成・職種などを背景に、それぞれの抱えたニーズが個別化し、埋もれやすくなっていると言えます。これからの支援に向けて、
・国の政策が提供できること(高速道路料金の減免、借り上げ住宅制度の改善など)
・埼玉県内の各自治体が提供できること(子育て支援や病院の情報提供など)
・埼玉県内の企業が提供できること(就労支援など)
・避難者の方々自身やボランティアが提供できること(交流会の開催など)
といった役割分担と連携を明確にするとともに、より一層の支援体制の構築が必要とされているのではないのでしょうか。
※アンケートの配布方法が均一ではないため、各設問の回答分布や比率は、埼玉県内の避難者の方々のご意見を必ずしも統計的に反映している訳ではありません。また、紙幅の都合上、自由記述を引用するにあたって文章の一部を圧縮しています。

月	火	水	木	金	土	日
1 4月	2	3	4 ■杉戸町★つつじの里サロン (交流サロン/パソコンサロン こども塾) 毎週木曜13:30-15:30 杉戸住宅6-301 0480-31-0055(つつじの里サロ ン事務局) ■加須市 簡単で使える 作品を作ります! 9:30~11:30 旧騎西高校生徒ホール 048-601-3111(With Youさいたま)	5	6 ■上尾市 ひまわり会 10:00~12:00 シラコバト団地集会室 048-774-6323(団地自治 会事務所)080-3091-6215 (橋さん) ■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00-15:00 騎西中央公園 080-6721-6858(たにこい)	7 ■幸手市 権現堂の桜の下に集まろう →1ページ参照 ■越谷市 一歩会総会 11:00~増林地区センター 090-4453-2034(安齋さん) ■加須市 花見交流会 10:00~加須市花崎北公園(寄り添 いステーション騎西集合) 090-1650-2874(富沢さん) ■羽生市 羽生つながりカフェ 11:00~15:00 お花見に出かけます! パール羽生 和室 048-601-3111(WithYouさいたま)
8	9	10 ■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 With Youさいたま4階 和室048-601-3111 ★	11 ■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 With Youさいたま4階 和室048-601-3111 ★	12 ■さいたま市 福玉・謡曲の会 10:30~11:30 With Youさいたま4階 セミナー室2 080- 5532-7380(薄井さん)	13 ■さいたま市 福玉・謡曲の会 10:30~11:30 With Youさいたま4階 セミナー室2 080- 5532-7380(薄井さん)	14 ■富士見市 お茶のみ交流会 10:00~12:30 ふじみ野交流センター 049-251-2711(富士見市安心安全課)
15	16	17 ■川口市 ひまわりの会 10:00~ お外でサロン 川口グリーンセンター正門集合 080-4920-4931(ひまわりの会) ■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 ★ JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241(鳩山町健康 福祉課社会福祉担当)	18 ■川口市 ひまわりの会 10:00~ お外でサロン 川口グリーンセンター正門集合 080-4920-4931(ひまわりの会) ■鳩山町 鳩の集い 10:00~12:00 ★ JAXA鳩山宿舎108号室 049-296-1241(鳩山町健康 福祉課社会福祉担当)	19 ■所沢市 交流会:青空あみぞら 11:00~14:00 お花見 所沢航空記念公園/ コーププラザ所沢 090-3960-8089(岡田 さん),090-8424-9797 (渡邊さん) ■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00-15:00 騎西中央公園 080-6721-6858(たにこい)	20 ■所沢市 交流会:青空あみぞら 11:00~14:00 お花見 所沢航空記念公園/ コーププラザ所沢 090-3960-8089(岡田 さん),090-8424-9797 (渡邊さん) ■加須市 かぞびば プレーパーク 10:00-15:00 騎西中央公園 080-6721-6858(たにこい)	21 ■ふじみ野市 おあがんなんしょ ビデオで振り返る「おあがんなんしょ」 13:00~16:00 ふじみ野市フクトピア 049-261-0681(市民活動支援センター) ■加須市 人形作り交流会 10:00~ 寄り添いステーション騎西 090-1650-2874(富沢さん) ■新座市 新座つながりカフェ 13:30~16:00 栄公民館2階 090-4968-5685(下瀬さん)
22 ■川越市 ココカフェ@川越 10:00~12:30 川越市南公民館 090-4226-9259(伊 藤さん) ※参加される方は事前 にご連絡ください	23 ■川越市 ココカフェ@川越 10:00~12:30 川越市南公民館 090-4226-9259(伊 藤さん) ※参加される方は事前 にご連絡ください	24 ■さいたま市 さいがいつながりカフェ 11:00~15:00 With Youさいたま4階和室 048-601-3111 ■東松山市 きずなの会 10:00~12:00 サン・コーポラ ス集会所 090-6259-4952(佐藤さん)	25 ■春日部市 春日部つな がりカフェ 13:30~16:00 コーププラザ 春日部3階 048-829-7400 (SSN)	26 ■春日部市 春日部つな がりカフェ 13:30~16:00 コーププラザ 春日部3階 048-829-7400 (SSN)	27 ■さいたま市 埼玉中央メー デー ア)一歩会による浪江焼き そば イ)双葉町整産クラ ブ実演 ウ)森さんの茶ま んじゅうの販売 など	28 インターネットでも最新情報をご案内しています。 しんさいつなぐ http://431279.com/ 震災支援ネットワーク埼玉(SSN)
29	30					

よいそいホットライン
0120-279-338
365日24時間。無料です。
震災・避難関連の相談をはじめ、
生活の困り事、心の悩みなど、どん
な内容でも対応してくれます。

ありがとうございます!
ございます!
本誌の印刷は、『富士ゼ
ロックス埼玉 端数倶楽
部』(社員ボランティア)の
皆様に全面的にご協力い
ただいております。



『福玉・便り』編集委員会
連絡先:(一社)埼玉県労働者福祉協
議会
電話048-833-8731

「福玉便り」配達人の永田です。実は中央
労働金庫の職員です。一応金融マンなので
すが、縁あって(一社)埼玉労働者福祉協
会に出向
しています。

福玉編集部での役割は「旗振り係」、他の
編集部員が徹夜で作業しているのを横目
に、「この写真入らない?」などと「KYな
お願い」をして作業を邪魔したりしていま
す。

こう見えても58歳...孫3人
をもつおじいちゃんです。定
年退職まであと2年、いろ
いろガタがきた身体に鞭打
って、皆さんとお付き合ひさせて
戴いています。杉戸の佐藤さんから
は「早く退職して自由なことをやろう!」と
責められていますが、ちょっと不安です。
「福」も「玉」も「福島」も「福玉便り」も
大好きです。今年、「相馬野馬追い」を観
に行きたいと考えています。誰か一緒に
行く人はいませんか???

編集部の腕章ができました。この腕章をつけ
たものが、皆さんのまちにおじゃまして、お
話しを伺わせていただきます。どうぞご協
力のほど、よろしく願っています。(一)

こんにちは、編集部です。
その①

福玉・便り
お送りします。
ご希望の方には、本紙を郵
送でお送りします。

提供しています。
支援物資のご案内
「トマトピューレ」・「レジャーグ
ズ」を提供いたします。必要な
方は(一社)埼玉労働者福祉協
会まで